

筑波医療科学

Tsukuba Journal of Medical Science

On-Line Journal

URL <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/cnmt/Medtec/journal.htm>

TJMS 2008; 5(1): 1-7



筑波医療科学 第5巻 第1号

Tsukuba Journal of Medical Science Volume 5, Issue 1 (2008, April 25)

【目次】

- 【特別寄稿】「桐技会」会報 No.3 / 役員会報告…………… 1
- 【MedSci Forum】1期生に対する進学に関するアンケートから…………… 2-4
桐技会企画
- 【MedSci Forum】医療科学主専攻二回生の「卒業に際しておもうこと」……………5-6
桐技会企画
- 【編集後記】……………7

【表紙のことば】

2年目の春(記念植樹 ハナミズキ)

【特別寄稿】桐技会 会報 No. 3

筑波大学 医療科学類同窓会 『桐技会』 役員会

役員会報告

昨年9月、本年1月、3月に役員会が開かれ、総務・経理・会報・名簿の運営について話し合われました。3月には、中川智貴会長が2回生主催の謝恩会に出席しました。

桐技会では新たに2回生を迎え、5月3日(土)につくば市内で総会を行うこと

になりました。会員の皆さんには近々詳細について連絡します。

シンボルマークが決定

桐技会のシンボルマークが決定しました。作製に関わった志水裕昭君(4年生)によると、テーマは「基礎から臨床まで、無限大∞の可能性」ということです。



【MedSci Forum】 1期生に対する進学に関するアンケートから

桐技会企画

前号に引き続いて、1回生から進路に関するアドバイスをもらいました。今回のテーマは「進学」です。大学院や細胞検査士の学校に進学した皆さんに、次の質問に答えてもらいました。

- ①進学先を教えてください。
- ②進学先はどのような経緯で選びましたか。(筑波大院医科学以外の方はより詳しくお願いします)
- ③入学以降、どういった生活を送っていますか。(授業の内容や1日の研究室での過ごし方など)
- ④進学先でのタイムスケジュールはどのようなものですか。(就職活動、修士論文作成、博士課程入試など)
- ⑤進学先を修了・卒業した後はどのような進路が考えられますか。

1回生 A・H

①筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻

②近いから

③授業内容:医療科学と大半が被るため、時々出席。1日の研究室での過ごし方:mail チェック→研究室にて自習→研究室の先生達と昼ごはん→研究室にて自習 or セミナー→帰宅(20時ごろ)

セミナーは週2回行っています。そのほか、大学主催の講演会に参加したりしてます。当研究室では、自習場所は指定されていませんので、図書館で行う事もあります。質問をすぐ聞けるというメリットがあるので、研究室で行っています。

④就職活動:年明けから本格化。現在真っ最中です。修士論文作成:私は、1月に移動したの

で、これからテーマを絞って決めます。その後、就職活動と同時進行で調査・考察し、書きます。

⑤企業に就職希望しています。

1回生 H・M

①筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻

②医科学の研究室で卒論を書いたがもっと対人関係の研究がしたいと思い、以前から興味があった高齢者の健康増進に関する研究室に行きたいと考えた。ネットで人間総合科学・体育科の大学院を調べ、教授のプロフィールやその教授が今行っている研究の紹介などから、その教授と連絡をとり、実際に会って話し合った結果体育科の大学院を受けることにした。

③1年生では、1日2,3コマの授業にでて、空いた時間は研究室で論文を読んだりレポートを書いたり、実験計画を考えたりする。基本、研究室は強制的ではないので、授業のない日は1日自宅で作業することもある。週に一回は研究室のゼミで各自の読んだ論文(英語)発表をきいて討論会(自分の発表する頻度は月に1度程度)。

授業は医療科学時代に比べれば格段に少ないため比較的自由な時間が多いが、何もしようとしなければあっという間に一年たってしまうので、自分で勉強する積極性が大事。

④一貫性博士課程は来年度からなくなるが、タイムスケジュールはほぼいっしょ。2年のうちに30単位を得る。2年で修論作成→研究報告会→中間審査→修士号。5年までに博士論文作成→研究報告会→予備審査→本審査→博士号。

⑤まだあまりわかりませんが…

・博士号をとって研究者や大学の講師など。

- ・海外への留学。
- ・修士号をとって教師、企業、NPOなど。

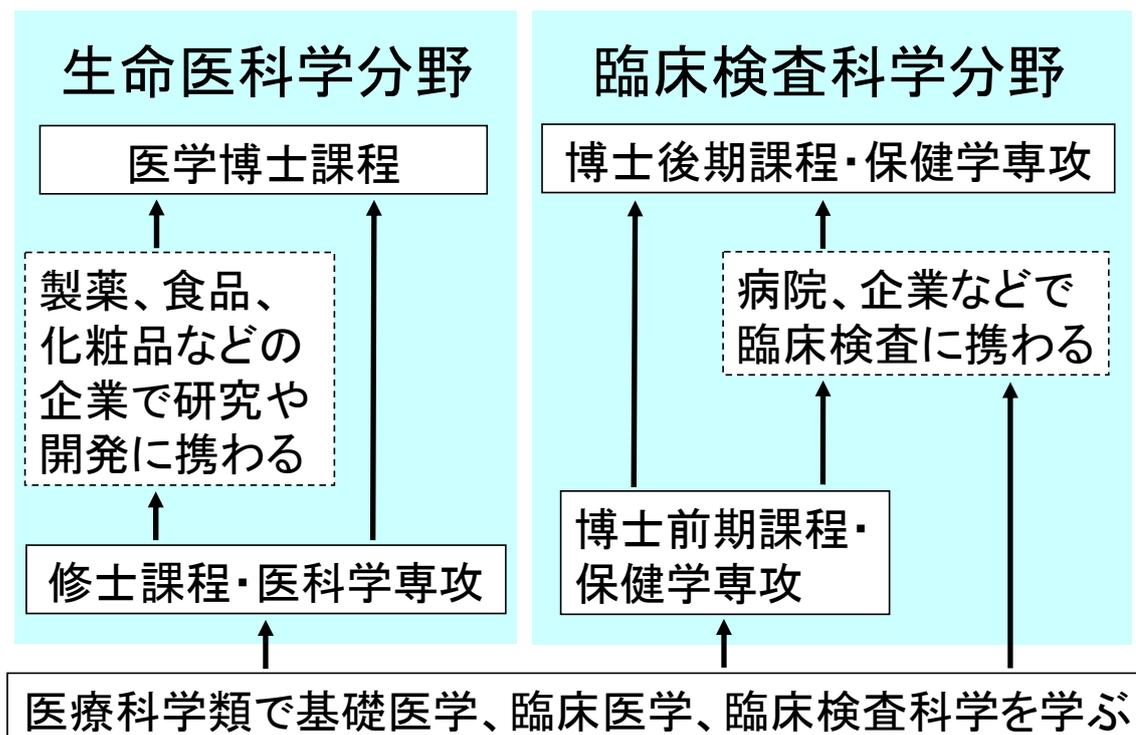
1 回生 Y・A

- ①筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻
- ②卒業研究を行った研究室に進学した。
- ③1年生の1学期には毎日授業があったが、学期が進むにつれて少なくなる。授業の内容としては、看護・医療科学類で学んだ基礎医学や臨床医学に関するものが多い。しかしながら臨床医学と社会医学の授業については、看護・医療

科学類よりも充実していると思われる。授業に出席するとともに、実験を継続して行っている。

④企業に就職する場合、就職活動は1年生の秋ごろから始める。博士課程の入試は2年生の夏あるいは冬に実施される。修士論文については、2年生の秋に中間発表があり、年明けに最終発表と論文審査がある。

⑤図に示すような進路が考えられる。ただし、この図では主な進路を示しており、本人の希望により他の進路もある。同級生の話によると、多くの人は企業への就職を希望しているという。



注:この図は主な進路を示すものです。

1 回生 T・N

①癌研有明病院付設細胞検査士養成所

②もともと病理診断に興味があったということもあり、細胞検査士の資格をもっていれば病理に就職しやすいのではと考えていた。実習の時に大学病院の細胞検査士の方に相談したところ、上記の養成所の存在を教えていただき、受験することを決意した。

③第一の目標としては、細胞検査士の資格試験合格を目指す。基本的には日曜・祝日と第 2、4 土曜日は休み。毎日養成所に行き、一日中(9 時～17 時)細胞診について学ぶ。試験には一次試験が学科試験、二次試験が実技試験なので、午前中に講義、午後に実習という授業が多かった。また授業後はルーチンの標本を見て自分なりの診断を付け、添削してもらい、実践力をつけることが出来る。生徒が 14 人という少ないので、講師の方とマンツーマンに近い状態で授業を受けることができるし、人数が少ない分同期の絆は強く、旅行にいったり飲みに行ったり充実した生活を送ることが出来た。

④2 月:入学試験

4 月:入学式

7 月:日本臨床細胞学会出席

8 月:中間試験

10 月:卒業試験、卒業式、一次試験

12 月:二次試験、合格発表

⑤基本的には病院、検診センターなど、細胞診業務を行うところに就職している。その他大学院への進学、研究領域での活躍もあり得る。形態学的に癌細胞を認識できる細胞検査士は細胞診の領域だけでなく、癌研究領域でも求められているということを講師の方から教えてもらったことがあります。私は今大学病院で細胞検査士として勤務していますが、個人的には研究領域にも興味があるので細胞検査士の特徴を生かし

て癌の研究をしてみたいという気持ちがあります。

【MedSci Forum】 医療科学主専攻二回生「卒業に際しておもうこと」

桐技会企画

3月に医療科学主専攻の2回生が卒業しました。今回は、卒業生の皆さんに卒業に際して思うことを寄せてもらいました。

大学で得る大切なもの＝単位<学位<友達(200411684)

勉強だけでなく、礼儀や人間関係など、失敗が多かった分学ぶことも多い4年間でした。お世話になった多くの方に感謝します。(200411688)

大学4年間は本当にあっという間でした。初めは知らない土地での一人暮らしに戸惑うことも多かったのですが、一人で色々なことを考える時間を持てたことが、とても貴重だったのだと今は思います。私はあと少し筑波の地に残ります。時にはこの4年間のことを思い出しながら、自分の道をしっかりと歩んでいければと思っています。(200411690)

4年間を通じて、筑波での生活は、友人と過ごす時間が他大学に比べ、本当に濃いものだと感じました。社会人になっても、たまに会ったら不思議と元に戻れるそんな出会いをした場所でした。(200411693)

4年間、本当にあっという間でした。これからは大学生活で学んだことを生かして、立派な社会人になれるよう、日々努力していきたいと思っています。(200411698)

この医療科学で学びたかったことの基礎が学べたので、四年前の筑波大学医療科学への進学を選択は間違っていなかったと思えます。最後の国家試験は苦痛に感じていたけれども、今思えば、最後に四年間の総復習をするいい機会ができてよかったと思います。いい友達とも出会えて充実した四年間でした。(200411699)

4年間の1番の思い出は卒研です。辛いことも多かったけれど、終わった時の達成感は何とも言えないものでした。新4年生には是非、頑張ってもらいたいです。また謝恩会を終えて、もっと先生方と話をすれば良かったなと感じています。新1~3年生には講義や実習において、先生方にたくさん質問をして、どんな科目にも積極的に取り組んで欲しいと思います。これからも医療科学類の益々の発展を期待しています。4年間ありがとうございました。(200411701)

卒研や国試で最後の最後まで忙しかった医療科学での生活。大変な時もあれば、恥ずかしい時もあった実習の日々。何かと集まり飲んで遊んだ友達との深い付き合い。大学生活は楽しく成長できた貴重な時間になったと思います。(200411702)

大学での四年間は本当にあっという間でした。多くの人に出会って、たくさん笑えたことはなによりも有り難いことだと思っています。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(200411708)

普段何気なくやっていたことが、今は懐かしく思い出されます。大学では勉強以外にもバイトや部活動など過ごした時間が長いほど思い出がいっぱいで、最後までみんなとやって来られてよかったです。(200411711)

知り合いもいないこのつくばに来て四年という月日が過ぎてしまいました。ほんとにあっという間のことで、入学したばかりのことも覚えています。この四年間、楽しかったこと、つらかったことなど沢山ありましたが、これからの人生に大きな糧になることと思います。四年間共に過ごしてきた人に感謝したいです。(200411717)

あっという間の4年間でしたが、筑波での生活はとても濃いものでたくさんの思い出ができました。筑波大への再受験を認めてくれた両親、支えてくれた友達、先生方、先輩や後輩など関わった全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(200411719)

今になると4年間はあっという間だった。渦中にいると毎日の実験レポートに追われ、病院実習が終わると、すぐに卒業研究へと移りゆっくり休む間もなく過ぎ去った。クラスの仲間と一つ一つのテストを乗り越

えて、達成感を共に感じれたことは一生忘れない。勉強だけでなく、部活の仲間やアルバイト経験も今後の人生を豊かにしてくれると感じた。私は筑波大学で学生生活を送れて本当に充実した4年間を過ごせた。(200411723)

筑波では、これまでになかった様々な経験ができ、自分の成長を感じると共に自分を支えてくれる多くの人々の存在の有り難さを痛感しました。皆様ありがとうございました。(200612422)

【編集後記】

二宮治彦（編集長）

「筑波医療科学」は発刊5年目に入り、医療科学専攻はこの春、第二回生を送り出しました。第一回生が発足させた「桐技会」が活動を初めて、後輩のための同窓会企画として、今回は「進学」をテーマに TJMS へ寄稿いただきました。

「国試」は、今年の春の成績も、残念ながら、全員合格とは行きませんでした。昨年の体験記を読んでいて、受験生としてのスタートが遅かったことを感じていましたが、合格率の数字だけでなく、就職試験における成績にも連動してくることであったろうと思います。

学類としても、進学や就職の基盤となる試験に対する対策をとります。

来年の今頃には、いいご報告が卒業生の皆さんにお届けできることを期待します。

| 筑波医療科学 第5巻 第1号 | |
|-------------------|--|
| 編集 | 筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄 |
| 発行所 | 筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 |
| 発行日 | 2008年 4月 21日 |